

公立鳥取環境大学 2018年度 経営学研究会第1回

本研究会は、公立鳥取環境大学経営学部研究者の有志が中心に、各自の研究テーマを持ち寄り、意見交換し、互いに学び合おうとする場です。学内外問わず、ご傍聴からご指導ご鞭撻頂ける方まで、ご関心ある方はぜひご参加下さい。

(参加費無料・申込不要・途中入退室自由) 今回のテーマは次の通りです：

テーマ1 島田善道 (経営学部)

「働き方改革」とグローバル市場主義の影響

長時間労働が社会問題化し「働き方改革」が盛んに喧噪されている。その一方で、1990年代以降、英米を中心とした市場主義の台頭、またICTの発展やグローバル化など、わが国はさまざまな影響を受け続けている。このような中、今般の「働き方改革」によって日本企業は欧米企業を凌駕する生産性を達成できるのだろうか。達成のためには何をどうすべきなのか、考えてみたい。

テーマ2 川崎紘宗 (経営学部)

解釈学と実証主義－会計研究の方法論における 「実証」という語の含意についての考察－

ガダマーの解釈学が主張する、言語を基盤として「先入見」を肯定する考え方は、実証主義的な傾向の強い社会理論学派では、そのような自己意識を、ほとんど評価に値しない邪魔者であるとの考えがある。そのような実証主義の思考をから派生した実証的な研究を会計研究の方法論として採っている研究がある。また、一見すると実証主義の思考が適さないと思われるような研究内容のものにおいても「実証」という語が書かれることもある。では、この「実証」とはどのような含意がある語なのであろうか。その一端を知るために、その導入部分として、本報告では、解釈学のどのような思考に対して実証主義が批判しているのかを述べたうえで、実証主義の思考について整理する。

テーマ3 佐藤彩子・倉持裕彌・磯野誠 (経営学部)

まちなか研究レビュー

これまでの本学でのまちなか活性化に関する研究をレビューし、今後の課題を議論します。

日時：2018年9月28日(金) 14:30～17:30

場所：公立鳥取環境大学まちなかキャンパス

鳥取市末広温泉町160日交本通りビル3階

スケジュール

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 14:30～15:15 | テーマ1：「働き方改革」とグローバル市場主義の影響 |
| 15:15～16:00 | テーマ2：解釈と実証主義－会計研究の～ |
| 16:00～17:30 | テーマ3：まちなか研究レビュー |

お問い合わせ

公立鳥取環境大学経営学部 磯野誠研究室
(研究会世話役)

鳥取市若葉台北1丁目1番1号
Email: m-isono@kankyo-u.ac.jp
Tel/Fax: 0857-32-9115